



としょかんひろば

本と出会い、人と出会い、仲間が生まれる図書館 2020年10月 第233号
Books are for all 東近江市立永源寺・愛東・湖東図書館

** 図書館カレンダー **

■はお休み（第4金曜日は原則整理休館日）

永源寺
愛東

永源寺図書館は
10月28日で
開館20年です

10月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

湖東

10月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

** 映画会 **

<永源寺図書館>

10月31日（土）14:00～16:20 「瀬戸内少年野球団」

<湖東図書館>

10月10日（土）14:00～16:10 「秋日和」

布あそび展 古い着物をよみがえらせる
10月1日～25日 永源寺図書館



** ごぞんじですか **

インターネットで、図書館の資料を検索したり
本や雑誌のバックナンバーを予約することができます。
右のQRコードから、図書館ホームページにアクセス
してみてください。

※予約には図書館で発行するパスワードが必要です

各館の開館時間・連絡先

永源寺図書館 開館：10時～18時
tel:0748-27-8050 IP:050-5801-8050
fax:0748-27-8090

愛東図書館 開館：9時～17時
tel:0749-46-2266 IP:050-5801-2266

湖東図書館 開館：10時～18時
(木曜日のみ20時まで)

tel:0749-45-2300 IP:050-5801-2300
fax:0749-45-3343

図書館ホームページ→



あたらしくはいった本（永源寺・湖東・愛東図書館に入った主なものを紹介します）

くらし・健康

60歳からの青春18きっぷ入門	松本 典久／著	天夢人
日帰り山あるき関西		ジェイティービーパブリッシング
リンパ浮腫病後のセルフケアと運動	廣田 彰男／著	法研
13歳からのメンタルケア イラスト版	安川 禎亮／編著	合同出版
痛み・こわばり・変形を自分で改善！よくわかるヘバーデン結節		ナツメ社
健康・医療情報の見極め方・向き合い方	大野 智／著	大修館書店

『器は自由におおらかに』 中川たま／著 家の光協会

料理の仕事をしている中川さんは、白っぽくて古い器が好き。ふちが少し欠けていたり、ひびが入っていたり、継ぎがあったり。ぴしっと揃ったものを並べるのも統一感があっていいけれど、かたちと色合いがなんとなく似ている器を銘々皿にしたりするのも楽しいそう。中華料理を和や洋の食器に盛り付けたり、カッティングボードやざるを食器として使ったり。大きな器に小さなものをちょこんと載せてみたり、豆皿を並べてさまざまな薬味を食卓にあげたり。食材の取り合わせは意外なのに、けっこうシンプルにできておいしそうなおレシピも紹介されています。器の楽しみ方をより深めることができそうです。



孫の顔が見たい！はじめてのスマホでビデオ通話	扶桑社スマホ向上委員会／編	扶桑社
ニッポン全国文房具店ガイド		玄光社
#おうち韓国	朝日新聞出版／編著	朝日新聞出版
心のままに、愉しいひとり時間。		宝島社
かぎ針で編むひよっこりかわいい！アニマルマフラー		アップルミンツ
きほんの平結びでマクラメが上手になる	蔭山 はるみ／著	誠文堂新光社
「帯」から作るバッグ		ブティック社
家呑み完全ガイド		晋遊舎
枝元なほみのリアル朝ごはん	枝元 なほみ／著	海竜社
冷蔵発酵で失敗なし！いつでも焼き立て！冷凍作りおきパン	吉永 麻衣子／著	扶桑社
キウイのスイーツレシピ	加藤 里名／著	マイナビ出版

社会・教育・福祉

『「がんになって良かった」と言いたい』 山口雄也・木内岳志／著 徳間書店



「がんになって良かった」という、にわかには理解し難い言葉。19歳という年齢でがんの宣告を受けた山口雄也さんが、数か月に及ぶ抗がん剤治療の末、10時間を超える難手術に向かう前夜にブログに記した言葉です。「どうして俺ががんにならなきゃいけないんだ」と「気が狂うほど繰り返し」考えた彼は、いかにしてこの言葉に辿り着き、どんな思いで綴ったのでしょうか。「病に執拗に付きまとわれ」、「千辛万苦の治療に耐えてひたすら生きる道を模索し続けた」過酷な日々……病と死に向き合い、人生について深く考え紡がれる本書には、今を生きる私たちへ向けてのかけがえのないメッセージが込められています。

AIエンジニアになるには	丸山 恵／著	ペリかん社
論語のおさらい	現代用語の基礎知識／編	自由国民社
上馬キリスト教会ツイッター部のキリスト教って、何なんだ？	MARO／著	ダイヤモンド社
渋沢栄一と勝海舟	安藤 優一郎／著	朝日新聞出版
昭和史七つの謎と七大事件	保阪 正康／著	KADOKAWA

韓国社会の現在	春木 育美／著	中央公論新社
世界を動かすイスラエル	澤畑 剛／著	NHK出版
公安調査庁	手嶋 龍一／著	中央公論新社
読書する女たち	ステファニー・スタール／著	イースト・プレス
おひとりさまの親と私の「終活」完全ガイド		日経BP社
京アニ事件	津堅 信之／著	平凡社
壁はいらない(心のバリアフリー)、って言われても。	今中 博之／著	河出書房新社
マンガ中学教員日記	田中 へこ／画	講談社
発達が気になる子のイヤートレーニング	小松 正史／著	ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス
肉とすっぽん	平松 洋子／著	文藝春秋
近江商人の魂を育てた寺子屋	中野 正堂／著	法蔵館

自然・ビジネス・産業

ゼロからはじめるテレワーク実践ガイド	田口 和裕／著	インプレス
部下が変わる本当の叱り方	吉田 裕児／著	明日香出版社
寄付金・クラウドファンディングの集め方	佐藤 しもん／著	ぱる出版
新くらしの税金百科 2020-2021	納税協会連合会／編	納税協会連合会



『ハダカデバネズミのひみつ』 エクスナレッジ

体毛がなく、によつきりと歯が突き出し、つぶらというにはあまりにも小さな目をした奇妙な動物、ハダカデバネズミ。彼らが特殊なのは、その見た目だけじゃありません。まず平均寿命が30年弱と長命で、老化せず、がんにもなりにくいという特異体質を持っています。そして哺乳類としては大変めずらしく、アリやハチのように女王を中心として、王、兵隊、雑用係と役割を分担した社会生活を地中で営んでいます。知れば知るほど面白くて不思議なハダカデバネズミの暮らしを、ぜひ覗いてみて下さい。

南極で心臓の音は聞こえるか	山田 恭平／著	光文社
今日から使える微積分 普及版	大村 平／著	講談社
ビジュアル恐竜大図鑑	梅田 智世／訳	日経ナショナルジオグラフィック社
カラスはずる賢い、ハトは頭が悪い、サメは狂暴、イルカは温厚って本当か？	松原 始／著	山と溪谷社
ゴミ清掃員の日常 ミライ編	滝沢 秀一／原著	講談社
日本展望タワー大全	かねだ ひろ／著	辰巳出版
無料で始めるネットショップ	志鎌 真奈美／著	技術評論社
まねるだけで伝わるデザイン	深田 美千代／著	ダイヤモンド社
地域の未来・自伐林業で定住化を図る	佐藤 宣子／著	全国林業改良普及協会

芸術・趣味

『世界で一番寒い街に行ってきた ベルホヤンスク旅行記』 まえだなをこ／著 講談社

タイトルには「ベルホヤンスク旅行記」とありますが、作者のユニークな視点でめぐる計4つの旅の記録がつづられています。どれも最低限の荷物で格安の旅、しかし、現地の人との交流はたっぷりです。世界で一番寒い街は未知の世界を知る驚きがあり、中国の少数民族をめぐる15年にわたる旅は感慨深いものがあります。他には、各国のピカソ美術館をめぐる旅、マレー半島食べ歩き、とゆるいイラストエッセイながら、単なる旅行記ではありません。多様な人々で構成される国家について、変化していく暮らしについて考えさせられる、読み応えのある本です。



園芸道具の選び方・使い方「コツ」の科学

園芸文化協会／著

講談社

もっと知りたい鳥獣戯画	土屋 貴裕／(他)著	東京美術
馬場のぼるのスケッチブック	馬場 のぼる／著	こぐま社
紙バンドで楽しくミニチュアハウス	村田 美穂／著	ブティック社
世界・夢の映画旅行	パイインターナショナル／編著	パイ・インターナショナル
テーピングで快適！登山&スポーツクライミング	高橋 仁／著	山と溪谷社
好日絵巻	森下 典子／著	パルコ

ことば・文学・小説

ぜんぶ本の話	池澤 夏樹／著	毎日新聞出版
一度は訪ねたい万葉のふるさと 近畿編 上・下	二川 暁美／著	奈良新聞社
子規を「ギャグ」る	夏井 いつき／著	光文社

『銀閣の人』 門井慶喜/著 KADOKAWA

文化の力で、政治に勝つ。「銀閣をつくる」戦乱の炎につつまれた京のみやこを見おろしながら、将軍義政は誓った。金閣寺を創建した偉大なる祖父・義満への反発、政治に生きた妻・日野富子への愛憎、斬殺された父・義教の記憶……。応仁の乱のさなか、政治に背を向け、己の美意識を追求した足利義政は何を思い、どのように銀閣寺を建てたのか。室町幕府八代将軍足利義政の孤独な半生を描く。



『芝浜の天女 高座のホームズ』美しく健気な妻の裏側とは？ 落語ミステリ第4弾	愛川 晶／著	中央公論新社
『三世代探偵団 生命の旗がはためくとき』祖母・母・娘のユーモアミステリ第3弾	赤川 次郎／著	KADOKAWA
『風を結う 針と剣縫箔屋事件帖』町医者 of 死は、刺繍屋の弟子の過去とつながりが	あさの あつこ／著	実業之日本社
『類』 鷗外の末息子・森類。父の死、パリへの游学、戦争と没落……時代と格闘した人生	朝井 まかて／著	集英社
『獣たちのコロシウム 池袋ウエストゲートパーク16』マコトたちは今日も悪と戦う	石田 衣良／著	文藝春秋
『江戸のおんな大工』父を亡くし、弟は頼りない。峰が江戸の住まいを普請で救う！	泉 ゆたか／著	KADOKAWA
『そこにはいない男たちについて』料理教室に集う二人の「妻」の孤独と冒険	井上 荒野／著	角川春樹事務所
『死神の棋譜』駒に魅入られ消えた男を追え。北海道の廃坑から地下神殿の対局室へ	奥泉 光／著	新潮社
『スキマワラシ』廃ビルに現れる「少女」。地方都市が舞台のファンタジックミステリー	恩田 陸／著	集英社
『魯肉飯のさえずり』逃げるように選んだ結婚で踏みこじられた心の声を、取り戻す	温 又柔／著	中央公論新社
『二百十番館によろこ』俺(自宅警備員)、離島暮らしに。ニート仲間とシェアハウス	加納 朋子／著	文藝春秋
『雪月花 謎解き私小説』乱歩、三島、芥川に山田風太郎。本読む愉しみが小説に	北村 薫／著	新潮社
『希望の峰 マカルー西壁』標高 8000m 超、ヒマラヤ最難関。死の壁を越えよ	笹本 稜平／著	祥伝社
『首里の馬』この島に眠る数多の記憶を、世界の真実につなぐ。芥川賞受賞作	高山 羽根子／著	新潮社
『竹林の七探偵』三国時代末期の中国。俗世間に背を向ける七人の賢人ならぬ探偵	田中 啓文／著	光文社
『食王』築地の社長衆に命を救われた外食チェーンの経営者が日本に熱い活を入れる	楡 周平／著	祥伝社
『記憶書店うたかた堂の淡々』彼女の恋人の思い出は書物に綴られた人の記憶？	野村 美月／著	講談社
『君に読ませたいミステリがあるんだ』鯉ヶ窪学園第二文芸部長は、美少女(自称)	東川 篤哉／著	実業之日本社
『そこに無い家に呼ばれる』幽霊=家だと告げる封印。幽霊屋敷シリーズ第3弾	三津田 信三／著	中央公論新社
『四畳半タイムマシンブルース』タイムマシンでエアコンのリモコンを取りにゆけ！	森見 登美彦／著	KADOKAWA
『海蝶』海上保安部初の女性潜水士・愛を、とんでもない事件が待ち受ける	吉川 英梨／著	講談社
『死という最後の未来』キリスト教と法華経。対極の死生観を携えて	曾野 綾子&石原 慎太郎／著	幻冬舎
『わかりやすさの罪』わかりやすさの猛進、あるいは妄信は、日本人にどう働いたか	武田 砂鉄／著	朝日新聞出版
『村井さんちの生活』琵琶湖のほとりで、夫と思春期の双子男子と大型犬と	村井 理子／著	新潮社
『戦争の歌がきこえる』アメリカのホスピス。音楽療法士は戦争の記憶の音を聴いた	佐藤 由美子／著	柏書房

ほかの図書館で所蔵している本や貸出中の本には、予約ができます。くわしくはもよりの図書館へおたずねください。